

・ 自由意見（障害者雇用に対するご意見・ご要望など）

- 1 職場実習ができる公的施設の提供をお願いしたい。
- 2 障害者の就労支援は大事なことと理解しているが、企業としては経営環境が厳しい中で雇用はかなり難しい状況。中小企業では障害者でなくても新規雇用を見合わせている。
- 3 障害者が体調の悪い時は、会社が忙しくても、本人の都合を優先せざるを得ない。他の従業員にも負担を強いることになる。
- 4 障害の内容（進むものなのか固定なのか）がわからず、雇用後に進行していることがわかり、それを理由に解雇もできず苦慮したことがあった。（以前に雇用していた肢体不自由者）会社内で何度も転び、その都度、労災で受診。進行性の障害については、事前説明がほしい。説明することにより、雇用の機会は減るかもしれないが、雇用後の対応ができるできないのでは大きな違いが出ると思われる。
- 5 障害の種類・程度と職業上の能力が雇用する上での関心事であり、健常者の採用と変わるところはあまりない。雇用に際し、施設変更等で支出を迫られる場合に、手厚い財政援助がほしい。
従業員数50人程度の規模では、専属でサポートできる人材の確保が困難。財政的支援が必要である。
- 6 健常者であっても雇用を控えている現状にあっては、障害者の雇用は難しい。
現在の経済状態では、障害者を雇用する余裕がない。
事故トラブル、製品破損等の件数「ゼロ」を目指さなければならず、発注先からの要求を考えると、障害者雇用はなかなか難しい。
- 7 市はもっと障害者を雇用したほうがよい。
市の業務でもっと障害者を雇用すべきである。
- 8 当社の従業員はプログラム開発者がほとんどで、補助的業務の仕事も数多く配置することはできないのが現状。専門知識を習得できている人を育成してほしい。
- 9 障害者への配慮を強化すればするほど健常社員との不公平感が増すように思われるので健常社員の理解と協力が必要である。
- 10 作業能力の見極めと、本人に適した作業が社内にあるか又は提供できるかどうか現場としての問題である。

- 1 1 現場では労災が心配で障害者を採用できない。
雇用した障害者による事件、事故の責任を事業者が全て持つため採用したがない。
紹介する機関や行政は、そのことについて無責任である。
- 1 2 企業の経営環境が厳しい中、人員等の削減により従業員に対しての業務負担が増加している。その中で業務が限定されたり、体調等により継続勤務が不安定な障害者の継続雇用は難しい。
- 1 3 戦力となる人材が少ない。採用試験を実施しても、会社が要求する能力・適性に達する人材が少ない。
就職を希望する障害者と企業側の希望する障害者（障害の種類や程度等）がマッチしなかった場合に断りづらい。企業側が希望するような方がなかなかいない。
- 1 4 障害者の勤務態度は健常者と変わりはなく、かえって真面目な作業員もいる。
1つの作業を集中的に処理する能力は、健常者よりもむしろ早く、持続性がある。
（知的障害者）
- 1 5 仕事内容や職場環境が適しておらず、サポートする人材がいない。この不況下、施設改修やサポートする社員を配置する余裕がない。障害者を雇用する企業が必要であるのは承知しているが難しいのが現状である。
- 1 6 身体障害者であれば採用してみたい。
- 1 7 アンケート項目が多すぎて業務に支障が出る。
- 1 8 中小企業においては、常にコスト削減を求められており、一人で複数の業務を行う必要があるため、責任をもって障害者を雇用する余裕はない。（中途半端では共倒れになる）
- 1 9 障害の程度・種別は一人ひとり異なるので、採用するにあたっては、特性や気をつける点などを相談したり手助けしてくれる機関があることをもっと企業にPRしてほしい。
そうすれば、採用する企業側の不安解消につながると思われる。
- 2 0 聴覚障害者を雇用しているが、社内の朝礼や教育を行うときに、書面等で対応している。手話通訳者を派遣していただけるような制度があれば利用したい。
- 2 1 障害者本人の状況がわからないと、雇用できるかどうか判断できないため雇用促進に非協力的となっている面がある。
- 2 2 特別支援学校等の生徒の実習生受入をしたが、会社の求人（ハローワーク）時期と一致せず採用できなかった。ハローワーク等とタイアップして紹介していただきたい。